

**製品名: FoxJ1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11089**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FOXJ1
別名	FOXJ1; FKHL13; HFH4; Forkhead box protein J1; Forkhead-related protein FKHL13; Hepatocyte nuclear factor 3 forkhead homolog 4; HFH-4
遺伝子 ID	2302.0
SwissProt ID	Q92949
免疫原	抗血清はヒト FOXJ1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

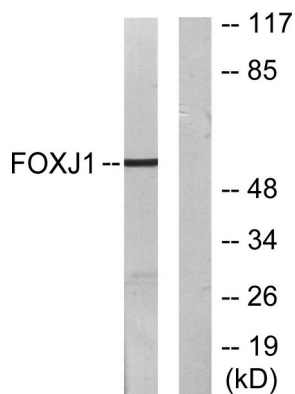
**背景**

この遺伝子は、フォークヘッド転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。ゼブラフィッシュとマウスの類似遺伝子は、運

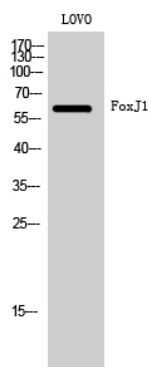
動性繊毛の産生を制御する遺伝子の転写を制御することが示されています。マウスの相同遺伝子は、左右非対称性の決定にも関与しています。この遺伝子の多型は、全身性エリテマトーデスおよびアレルギー性鼻炎と関連しています。[RefSeq 提供、2009年9月]、発達段階: 発達中の肺、腎臓、中枢神経系で発現します。、疾患: FOXJ1 の遺伝子変異は、アレルギー性鼻炎 (ALRH) の感受性と関連している可能性があります[MIM:607154]。アレルギー性鼻炎は、複雑な遺伝性の一般的な疾患であり、アレルゲンへの曝露によって引き起こされる粘膜炎症を特徴とします。、機能:肺の発達中の細胞運命決定および精子形成において重要な役割を果たす可能性があります。、類似性:1つのフォークヘッド DNA 結合ドメインを含みます。、組織特異性:精巣、卵管、肺、および脳皮質。、

## 研究分野

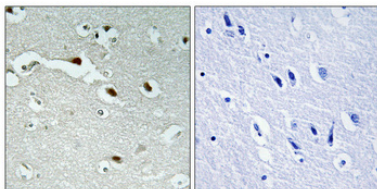
## 画像データ



FOXJ1 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン は合成ペプチドでブロッキングされている。



FoxJ1 ポリクローナル抗体を使用した LOVO 細胞のウェスタン ブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。